

神宮東公園 管理運営方針

パークマネジメントプラン

◆公園の特性を生かした公園経営の推進◆

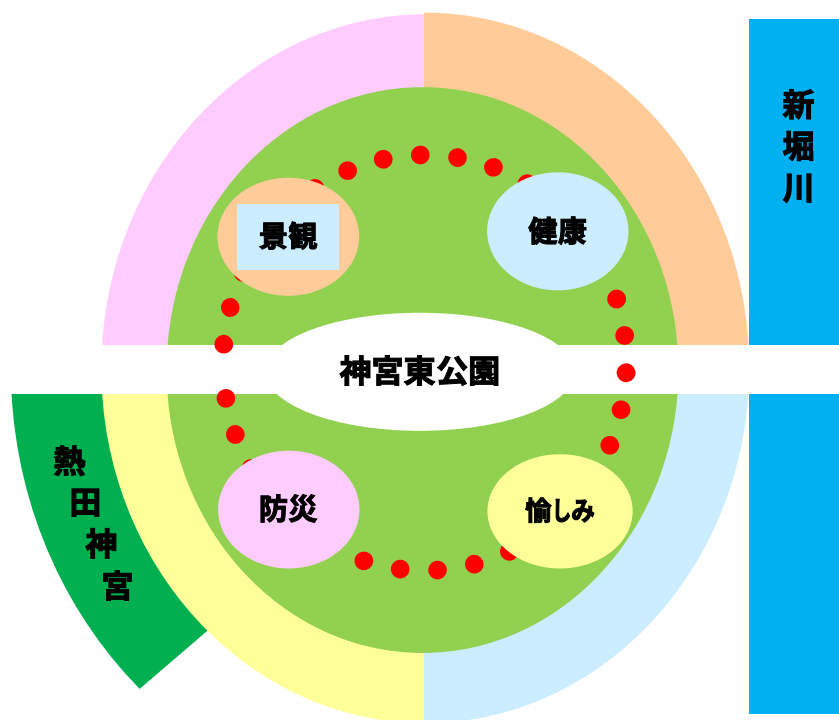
平成 29 年 3 月

名古屋市緑政土木局

神宮東公園のめざす公園像

緑あふれる景観の中で愉しむ、
心と体を育むオアシスパーク

- ・ 緑あふれる景観の中で、市民が憩える公園
- ・ 地域の健康づくりの拠点として、利用できる公園
- ・ 様々な利用者層に対応でき、愉しみを演出する公園
- ・ 災害から周辺住民の命を守る、防災機能のある公園



目次

基本事項

1.公園の概要

1-1.神宮東公園の概要	3
(1) 概要	3
(2) 行政計画上の位置づけおよび指定等	6
1-2.沿革	10
1-3.立地環境	11
(1) 自然状況	11
(2) 周辺状況	11
1-4.整備時の方針および内容	13
(1) 整備当初の基本方針	13
1-5.施設状況	14
(1) 施設概要	14
(2) 利用時間および料金	17
(3) 景観	17
1-6.利用状況	19
(1) 利用実績（テニスコート）	19
(2) 利用者の意見	20
(3) 利用・運営上の課題	22
(4) 協働	23
(5) 民間活力の導入	23
1-7.公園の基本的な性格・役割	24
(1) 特長の分析	24
(2) 公園経営の視点から見た現況評価	25

2.めざすべき姿と取り組みの方針

2-1.公園がめざすべき姿	26
(1) めざす公園像	26
(2) 神宮東公園のイメージ	26
2-2.取り組みの方針	27
(1) 公園経営の目標設定	27
(2) ゾーン別特性	28
(3) 維持管理の方針	29
(4) 景観形成の方針	29
(5) 運営管理の方針	29
(6) 連携・協働の方針	30
(7) 改修・再整備の方針	30
(8) 災害対応の方針	30

公園管理運営方針 基本事項

公園管理運営方針（パークマネジメントプラン）は、平成 24 年 6 月に公表された「公園経営基本方針」及び、平成 25 年 7 月に公表された「公園経営事業展開プラン」に基づき、今後 10 年程度を計画期間として公園の管理運営の方針等を定めるものです。

この方針では、神宮東公園の性格、役割、立地条件や公園としてのあゆみ、利用者の動向などを踏まえて、めざす公園像を設定し、その実現にあたっての取り組みの方針を定めました。

管理者、利用者、事業者等は、このプランで示す各方針に即して、本公園における管理運営や利活用の促進を、それぞれの立場で行っていくものとします。

なお、本方針については、マネジメントサイクルで行う評価の結果や、周辺の都市基盤整備状況、技術動向、財政見通しなど社会経済情勢の変化等により対応が必要となった場合には、適宜見直しを行っていくものとします。

「名古屋市の公園経営」とは…

従来の行政主導による維持管理中心の公園管理から脱却し、利用者志向、規制緩和等による市民・事業者の参画の拡大、多様な資金調達とサービスへの還元、経営改善手法の導入など、公園の利活用の発想により公園の経営資源を最大限に活用していく新たな管理運営の考え方です。

名古屋市においては、市民ニーズを考慮した公園経営を第一とし、公園を「市民の資産」としてとらえ、多くの人々の関わりの中で、市民全体が公園経営の成果を享受できるように「管理する資産」から「経営する資産」へと公園の管理運営のあり方を大きく変革していくものです。



■市民・事業者・行政の Win-Win の関係

1-1.神宮東公園の概要

(1) 概要

開園年度	昭和 60 年（1985 年）
都市公園法による設置	昭和 60 年 4 月 1 日
公園面積	8.09ha
所在地	名古屋市熱田区六野二丁目、三本松町
公園種別	地区公園
都市計画決定	年度 昭和 54 年 12 月 21 日 番号 4・4・25 号（地区公園） 面積 8.60ha
土地取得方法	復興土地区画整理事業、計画局より所管換え





神宮東公園航空写真
 (「名古屋市都市計画写真地図(平成22年撮影)」を加工して使用)

⋯⋯ = 神宮東公園(都市公園区域)

⋯⋯ = 神宮東公園(都市計画区域)

(※熱田プールは教育委員会所管)

[位置]

神宮東公園は、熱田区の東端に位置し、南西側に熱田神宮があり、鉄道(J R東海道本線、名鉄名古屋本線)と新堀川に挟まれた地区公園である。

またJ R東海道本線の「熱田」駅、名鉄名古屋本線の「神宮前」駅の東側に位置している。



神宮東公園位置図

[交通]

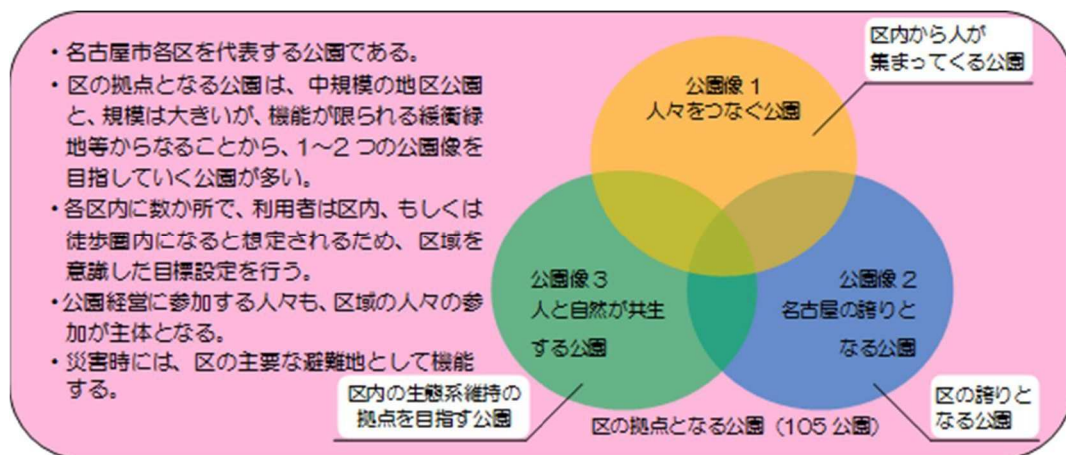
名鉄名古屋本線	「神宮前」駅 より徒歩 10 分
J R東海道本線	「熱田」駅 より徒歩 10 分
地下鉄名城線	「神宮西」駅 より徒歩 15 分
名古屋市営バス	金山 15・熱田巡回「熱田プール」バス停下車すぐ 熱田巡回・名駅 18・神宮 11「神宮東公園」バス停下車すぐ

(2) 行政計画上の位置づけおよび指定等

〔区の拠点となる公園〕

神宮東公園は、名古屋市公園経営事業展開プランの中で、公園の面積規模や公園利用者の広がり considering 「広域の拠点となる公園」「区の拠点となる公園」「地域の身近な公園」の3つに分類された公園体系のうち、「区の拠点となる公園」として位置づけられている。

「区の拠点となる公園」とは、各区でおよそ数か所ある地区公園及び河川敷緑地など（緩衝緑地、広場公園、都市緑地、緑道を含む）である。



※名古屋市公園経営事業展開プラン（H25.7）

[広域避難場所]

神宮東公園は、名古屋市地域防災計画の中で、広域避難場所に指定されている。

広域避難場所とは、主として災害などによる大規模火災が延焼拡大した場合に、周辺地域からの避難者を収容し、避難者の生命を保護するために必要な面積を有する公園、緑地などのことである。

また、公園内に応急給水施設が設置され、隣接する南養護学校が避難所として指定されており、この地域の重要な防災の拠点となっている。



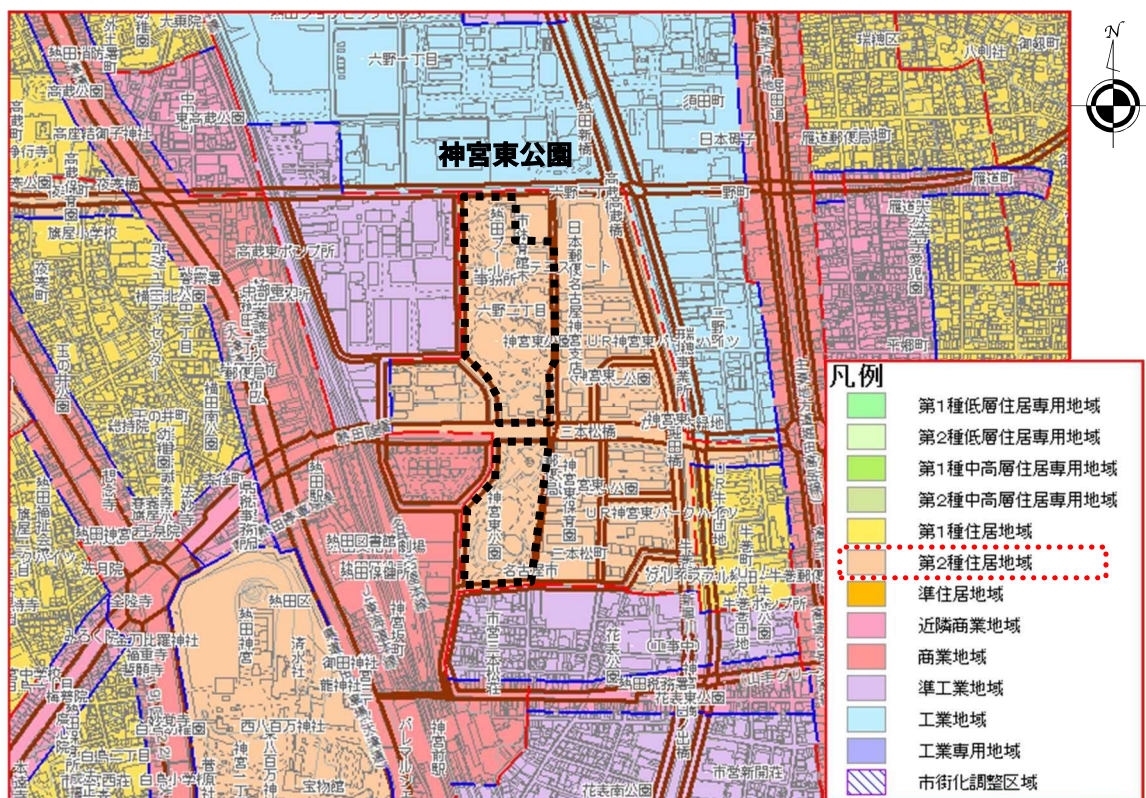
避難所マップ

(「あなたの街の地震ハザードマップ 熱田区(平成26年3月発行)」を加工して使用)

[用途地域]

神宮東公園は、都市計画法による第2種住居地域内に位置し、北は工業地域、西は商業地域、準工業地域、東は第2種住居地域、南は準工業地域となっている。

複数の用途地域に囲まれていることから、様々な利用者が公園を利用しており、今後多様な利用が想定される。



用途地域図

(「名古屋市都市計画基本図(平成22年)」を加工して使用)

[人口集中地区]

神宮東公園は、人口集中地区に指定されている。

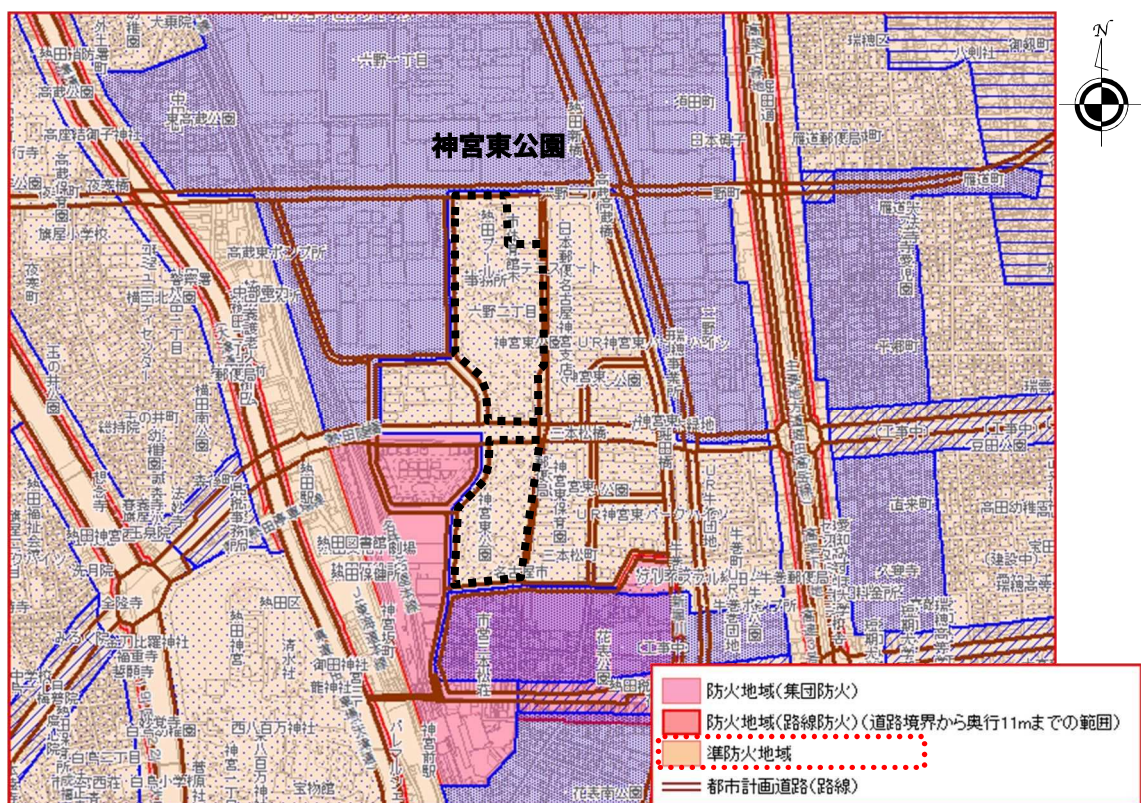
人口集中地区とは、人口密度が4,000人/km²以上の基本単位区が、互いに隣接して人口が5,000人以上となる地区のことである。

[準防火地域]

神宮東公園は、都市計画法により準防火地域に指定されている。

準防災地域とは、市街地における火災の危険を防除するため定める地域として、建築基準法および同法施行令において建築物の耐火機能など具体的な規制が定められた地域である。

それにより、今後整備等で公園内に建築物を建てる場合は、基準に従い耐火性のある建築物を建てなければならない。



防火地域図

(「名古屋市都市計画基本図(平成 22 年)」を加工して使用)

1-2.沿革

昭和 43 年（1968 年）7 月	熱田神宮外苑土地開発(株)設立（緑とレジャー・スポーツレクリエーション施設を中心とした開発構想）
昭和 44 年（1969 年）6 月	名古屋市体育館完成
昭和 45 年（1970 年）6 月	熱田プール竣工
昭和 50 年（1970 年）5 月	熱田神宮外苑土地開発 (株)解散
昭和 52 年（1977 年）12 月	名古屋市基本構想の策定
昭和 53 年（1978 年）6 月 25 日	復興土地地区画整理事業(熱田第 4 工区)により換地処分公告
昭和 54 年（1979 年）1 月	建設省（現 国土交通省）、新制度モデル地区として、東京木場地区、大阪淀川リバーサイド地区、名古屋神宮東地区を決定
昭和 54 年（1979 年）9 月	特定住宅市街地総合整備促進事業制度要綱制定
昭和 54 年（1979 年）12 月	神宮東地区、整備計画が大臣承認される
昭和 54 年（1979 年）12 月 21 日	都市計画決定(計画面積 8.60ha)
昭和 55 年（1980 年）3 月	都市計画公園、都市計画道路等の整備開始
昭和 59 年（1984 年）2 月 1 日	三本松橋(人道橋)供用開始
昭和 60 年（1985 年）4 月 1 日	都市公園設置(3.51ha)
平成 1 年（1989 年）7 月 1 日	都市公園の区域変更(6.35ha)
平成 3 年（1991 年）4 月 1 日	六野公園の土地を神宮東公園に編入する (六野公園の廃止) (8.09ha)
平成 6 年（1994 年）	特定住宅市街地総合整備促進事業と他の事業を統合し、 住宅市街地整備総合支援事業へ名称変更
平成 10 年（1998 年）3 月	市街地総合整備促進事業完了（公園整備事業も完了）
平成 26 年（2014 年）4 月 1 日	神宮東公園愛護会が南園にて設立

1-3.立地環境

(1) 自然状況

神宮東公園は、陸軍造兵廠跡地に整備されており、もともと自然とは程遠い場所であった。現在では、園内にはケヤキやコナラなどの高木が公園を取り巻くように数多く植えられて、充実した都市型の緑地空間となっている。

神宮東公園は、年間を通して見られる鳥は少なく、1日に観察できる種類も多くはないが、なごや生物多様性保全活動協議会・日本野鳥の会などにより確認できた鳥類（声を聞いたものも含む）は約30種類以上にのぼる。ほとんどが山野の鳥で、水鳥は園内の池で見られるカルガモとカワウのみである。

〔神宮東公園で見られる主な野鳥〕

通年・・・カルガモ、カワウ、キジバト、スズメ、ドバト、ハシボソガラス、メジロ など
冬・・・ハクセキレイ など

(2) 周辺状況

神宮東公園は、熱田区の東端にあり、JR東海道本線、名鉄名古屋本線などの鉄道と、新堀川に挟まれるように位置する。公園東側には公園と同時期に建てられたUR都市機構の集合住宅があり、公園とほぼ一体化したつくりになっている。また、公園(北園)北東角に名古屋市体育館・熱田プール、公園西側の敷地内に熱田土木事務所などがある。

公園周辺の主要施設では、鉄道を挟んで南西側に熱田神宮、西側に熱田区役所があるほか、名古屋市立神宮東保育園、南養護学校などの教育施設、日本郵便名古屋神宮郵便局や大企業本社、住宅展示場、倉庫群、大型パチンコ店など、様々な用途地域・建物が入り混じっている地域となっている。

また、神宮東公園をはじめ、宮の渡し公園、大瀬子公園、白鳥公園、高蔵公園、県営熱田神宮公園などの公園が、熱田神宮を取り巻くように位置している。

交通のアクセスは、緊急輸送道路に指定されている一般国道19号や堀田高岳線に接続する市道(豆田町線)が、公園を南北に分けるように通っているほか、公園西方向にJR「熱田」駅、地下鉄「神宮西」駅、南西方向に名鉄「神宮前」駅、公園周辺に市営バス「神宮東公園」バス停や「熱田プール」バス停などがある。



周辺状況図



バス停位置図面

- ① 「熱田プール」
- ② 「神宮東公園」

1-4. 整備時の方針および内容

(1) 整備当初の基本方針

神宮東地区は、もともと日本車輛製造や東洋プライウッド(現 住友林業クレスト)などが名古屋有数の大規模内陸工業地帯を形成していたが、工場再配置の動きにより大規模工場の移転が行われるようになった。

昭和 54 年 1 月に諸施策を特定地区に集中することにより、総合的都市整備をモデル的に推進しようという「特定住宅市街地総合整備促進事業制度」が認められ、名古屋では神宮東地区が事業地区に採択された。

神宮東公園は、この計画の一部として位置付けられ、整備された公園である。

《神宮東特定住宅市街地総合整備促進事業整備計画》(昭和 54 年 12 月策定)

(昭和 55 年 12 月名古屋市計画局・日本住宅公団中部支社) より抜粋

第 3 章 神宮東地区整備計画

名古屋市基本構想の精神を踏まえ、以下の整備方針を設定した。

- ① 安全な避難地確保による都市防災性能の向上
- ② 職住近接を目的とした定住性のある住宅地の形成・市街地住宅の大量供給
- ③ 都市魅力増大のため広域的視野に立った公共公益施設の積極的な導入等による土地の高度利用の促進と都市機能の更新

(iii) 公園・緑地計画

大規模な地区公園を防災広域避難地の核となるよう計画し、公園・緑地系統の構成は、児童公園の適正配置、河川街路等の公共空間の緑化推進を目標とする。

地区公園の形態としては、土地利用等の実態、周辺の宅地利用との総合的結びつき等を配慮し、南北方向の軸線をもつ形態とする。

地区公園の機能として、北部は名古屋市立体育館、六野プール(現 熱田プール)等との一体利用を想定し、スポーツ系施設のほか、多目的芝生広場、噴水、花壇などの修景施設を計画し、地区公園として魅力あるものとする。

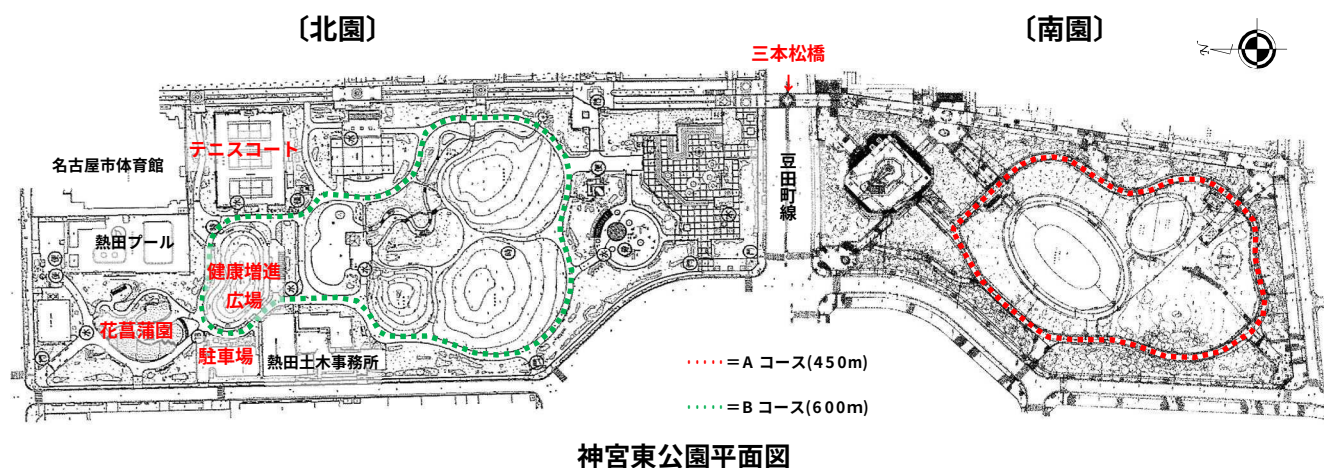
南部は、隣接する小学校(現 南養護学校)との有機的利用を目的とする学校公園構想の実現と、密集市街地居住者の日常利用を配慮し、近隣公園的機能を重視する。

そのほか都市公園として、大規模住宅(現 UR 都市機構住宅)地区内には、誘置圏を配慮して、人々が親しみを持ちやすい特色ある児童公園を設置する。(現 神宮東くちなし公園・神宮東あじさい公園)。この児童公園を中心に住宅開発によって整備される幼児遊園等と繋がりに特に注意し、利用者の特性に対応した公園の段階構成を実現する。

1-5.施設状況

(1) 施設概要

公園は南北に長く、それらを分けるように幹線道路(豆田町線)が通っており、北園と南園を人道橋(三本松橋)が結ぶ働きをしている。園内には3面のテニスコートや健康増進広場などの健康施設があり、健康づくりの場として利用されているほか、壁泉や流れ、修景池などの水景施設や彫刻などがあり、景観も良く落ち着いた雰囲気が魅力という利用者も多い。また、大きな芝生・土の広場もあり、緑の多い都市部のオアシスのような地区公園となっている。



神宮東公園平面図

[施設概要]

■テニスコート

名古屋市体育館の南側に位置し、全天候型(人工芝)で3面(2,050㎡)のコートを設置しており、更衣室も併設されている。



テニスコート

■健康増進広場(フィットネス広場)

平成 17 年度に北園に整備され、11 基の健康器具が設置されている。



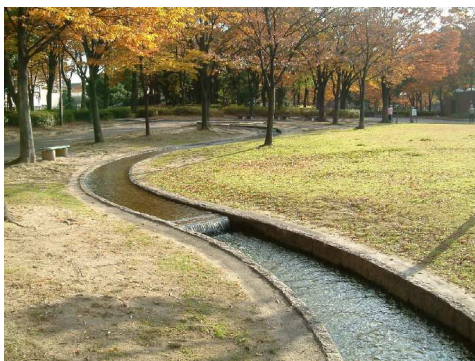
健康増進広場

■ランニングコース

北園・南園にそれぞれ 1 コースずつあり、北園は健康増進広場・修景池と流れ・3 つの芝生広場の外周を周る 600m のコース、南園は 3 つの土の広場の外周を周る 450m のコースがあり、朝夕を中心に多くのランナーに利用されている。

■水景施設

北園には 400㎡ の壁泉・1,200㎡ の流れ、南園には 270㎡ の噴水(※11～2 月稼働停止)があり、夏には涼しげな空間を演出している。また北園中央には四阿(あずまや)のある修景池があり、四季折々の風景が楽しめる。



流れ(北園)



噴水(南園)

■花菖蒲園

熱田区の花であるハナショウブが植えられており、6 月のはじめに見頃を迎える。

■広場

北園には芝生広場が3か所、南園には土の広場が2か所あり老若男女問わず様々な利用がされている。



芝生広場 (北園)



土の広場 (南園)

■遊具広場

北園・南園それぞれに1か所ずつあり、近隣に住む子供や、幼稚園・保育園の子どもたちに人気である。

■応急給水施設

北園駐車場横に応急給水施設（仮設給水栓）が設置されている。

応急給水施設は、常設給水栓、仮設給水栓、地下式給水栓などの種類があり、災害時給水が受けられるよう広域避難場所などに設置されている施設である。

■その他

寄附物件

- ・彫刻「平和の心」（H4.1 寄附 北園）
- ・名古屋陸軍造兵廠跡記念碑（H27.4 寄附 北園）



「平和の心」



「名古屋陸軍造兵廠跡記念碑」

(2) 利用時間および料金

【テニスコート】3面（全天候・更衣室有り）2,050 m²

利用期間	利用時間		使用料
	利用区分	時間帯	
通年	昼間	8:30～16:30	1,300 円
	半日	午前 8:30～12:00	700 円
	午後	13:00～16:30	
ナイター利用期間 (3/1～11/30※)	夜間	17:00～20:30	700 円

※夜間照明のための電気料金は別途必要

【駐車場】

駐車場名	面積	収容台数	供用期間	供用時間	料金
神宮東公園 駐車場	約 400 m ²	普通 一般：11 台 テニス専用：6 台	通年	一般駐車場は 9:00～17:00	無料（ただし テニス利用者 専用駐車場は テニス利用者 のみ）

(3) 景観

【公園内の優れた景観】

- ・ 四阿（あずまや）のある修景池
- ・ 壁泉と彫刻（「待つ日」）



修景池



壁泉と彫刻「待つ日」

■彫刻

作品名	作家名	設置年	設置場所	備考
待つ日	津田裕子	H 元.3	壁泉	
平和の心	山田將晴	H3.12	北園	寄附

■水景施設

種類	面積 (m ²)	設置年月	備考
壁泉(北園)	400	S60.3	
流れ(北園)	1,200	S60.3	
修景池(北園)	—	S60.3	
噴水(南園)	270	H 元.7	11月～2月 冬期稼働停止

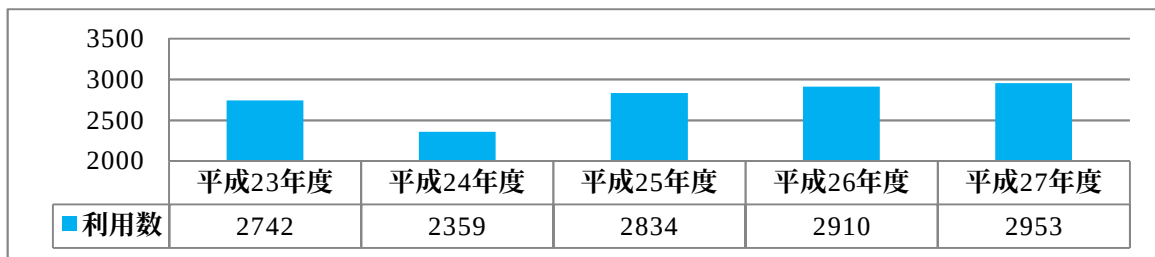
■花の名所

- ・ハナショウブ 約 6,000 株

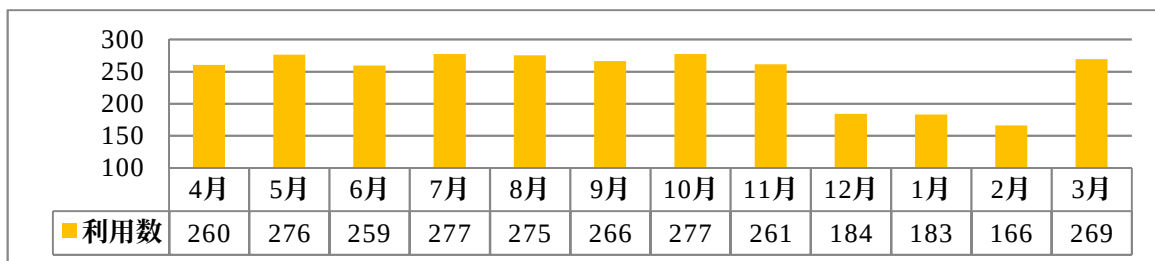
1-6.利用状況

(1) 利用実績 (テニスコート)

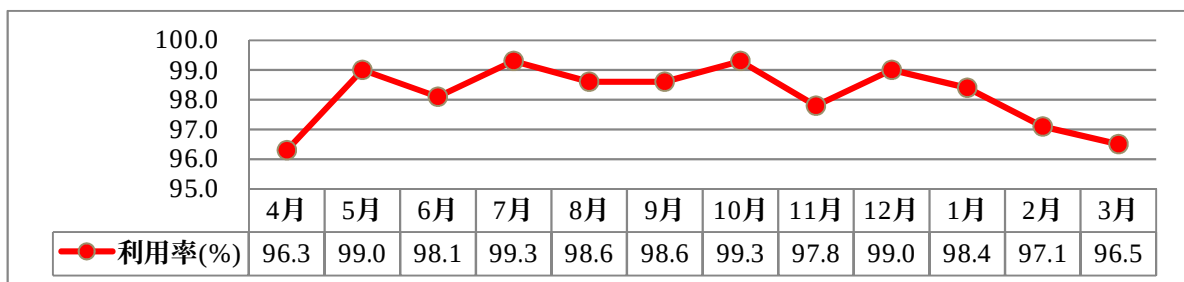
①利用数 (平成 23 年度～27 年度)



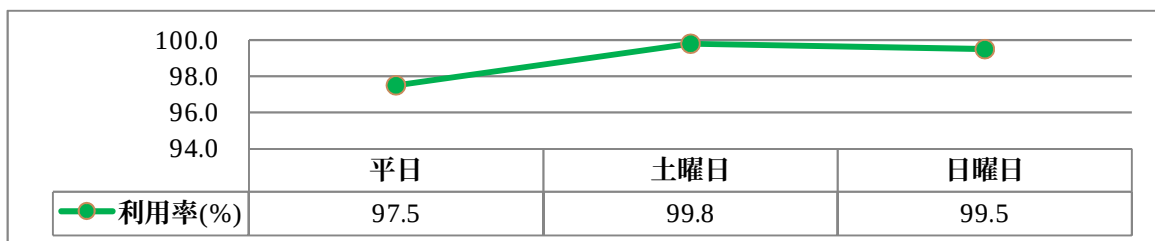
②月別利用数 (平成 27 年度)



③月別利用率 (平成 27 年度)



④ 曜日別利用率 (平成 27 年度)



(2) 利用者の意見

[ネット・モニターアンケート]

平成 22 年に行われた“ ネット・モニターアンケート ”によると、神宮東公園は「名古屋市内の公園で好きな公園」13 位となっており、神宮東公園が好きな理由は次のとおりである。

- ・ グラウンドが広くて子供が色々な遊びができる。
- ・ 近くに大型商業施設があって買い物にも寄れる。
- ・ 桜が綺麗。
- ・ 芝生広場が広すぎず狭すぎず、きれいで人が少ない。

[アンケート調査]

公園に関する意見・要望を、平成 28 年 11 月に現地にてアンケート及び聞き取り調査を行った。利用者の傾向と公園利用者の意見の聞き取り結果は、以下のとおりである。

■利用者の傾向

- ・ 「公園近隣住民」の利用率が約半数を占め、公園近隣以外の熱田区内在住の利用者と併せると、全体の 7 割を占めた。
- ・ 瑞穂区との区界に近いこともあり、瑞穂区から来ている利用者は、全体の約 2 割を占めた。
- ・ 「ほぼ毎日」又は「週に数回」の利用が多い。
- ・ 「緑が多い」「近い」「広い」「静かで落ち着ける」「ゆっくりできる（休憩しやすい）」などを、公園を選んだ理由・利用の目的としてあげる利用が多かった。
- ・ 東側の大規模住宅に住んでいる人の通り抜けが多い。
- ・ 近隣の保育園の散歩や、近隣に住んでいる親子連れの利用が多い。

■意見・要望等

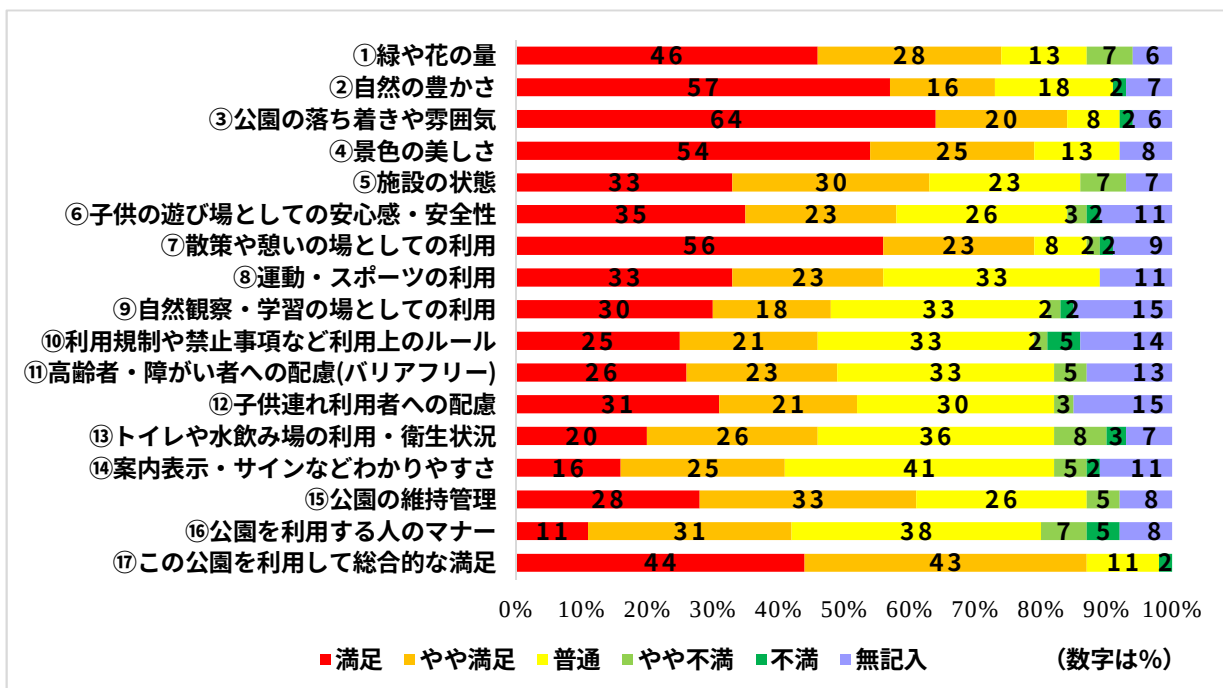
- ・ 遊具の種類を増やしてほしい。
- ・ もう少し花があると良い。
- ・ 駐車場が少ない。もっとあると良い。
- ・ 公園灯を増やしてほしい。
- ・ 雨の日に濡れずに座れる場所が欲しい。
- ・ ベンチが少ない。ベンチが欲しい。
- ・ 安全な水遊び場が欲しい。
- ・ ハチが多いので草刈りを頻繁にやってほしい。
- ・ イベントを開催してほしい。
- ・ ノーリード犬が怖い。犬の放し飼いがたまにある。

- ・ 犬のフンが多い。
- ・ とても素敵な公園だと思う。
- ・ 野鳥が来るのがとても良い。いつも見に来る。
- ・ また遊びに来たいと思う。
- ・ 時々、バットとボールで遊んでいる人がいて怖い時がある。
- ・ 緑は大満足。
- ・ 山になっているところがあり、子供が遊ばせて良い。
- ・ 空き缶・空き瓶がよく捨ててあるので危ない。
- ・ 池にカモがいて、周辺に日影があって良い。
- ・ トイレも有り満足。
- ・ 散歩にちょうど良い。
- ・ 舞台・コンサート広場が設置されているようですが、あまり利用されていない。活用
の方法・告知をもっとされると良いと思う。

■公園に関する評価

アンケート回答者には、公園に関する事項 17 項目を評価してもらった。

- ・ 「自然の豊かさ」「公園の落ち着きや雰囲気」「景色の美しさ」「散策や憩いの場としての利用」に関する項目で「満足」と評価した人が多かった。
- ・ 「緑や花の量」「施設の状態」「トイレや水飲み場の利用・衛生状況」「公園の維持管理」に関しての「やや不満」の評価がほかの評価事項よりも多く、「利用規制や禁止事項など利用上のルール」「公園を利用する人のマナー」に関して「不満」と思っている人も一定数いることが分かった。



■神宮東公園に望まれる公園像

公園利用者が神宮東公園に今後望む公園像は、現在の神宮東公園の特長を反映した内容が多かった。

- ・ 快適で美しいまちづくりの拠点としての公園
- ・ 子供の遊び空間としての公園
- ・ 安らぎやくつろぎの空間としての公園
- ・ 景色を楽しめる場としての公園
- ・ 多様な生物の生息の場としての公園

(3) 利用・運営上の課題

- ・ 施設や舗装等の老朽化が課題になっている。
- ・ 大型の水景施設があり、予算・メンテナンスの都合上、冬期停止をしている。

(4) 協働

[公園愛護会]

- ・ 地元老人会で構成されている公園愛護会が、園内で清掃、除草等の活動をしている。

■活動状況

- ・ 月に1回程度の清掃活動

■公園愛護会の意見

公園愛護会に、公園に関するアンケート調査を行った。
アンケート結果は、以下のとおりである。

- 1) 神宮東公園で活動していて楽しく感じること
 - ・ 綺麗になる時、気持ちが良い。
 - ・ 清掃中に挨拶されると気分が良い。
 - ・ 人手不足にて、愛護会会員以外の方が清掃に参加していただいた時（うれしく感じる）。
- 2) 神宮東公園に対する愛護会の評価
 - ・ 「自然の豊かさ」「景色の美しさ」「公園の落ち着きや雰囲気」「運動・スポーツの利用」については満足している。
 - ・ 「施設の状態」「案内表示・サインなどわかりやすさ」「公園を利用する人のマナー」についてはやや不満がある。
- 3) 神宮東公園の魅力
 - ・ 個人・家族・グループ等が集って安らぐ場所であり、スポーツができる広場がある。
- 4) 神宮東公園に求めること
 - ・ 利用者のマナーが守られる公園
 - ・ 憩いを感じられる公園

[その他の団体の活動]

- ・ 公園北側に本社がある日本ガイシ株式会社の労働組合が、6月～9月に月1回神宮東公園及びその周辺の清掃作業を行っている。

(5) 民間活力の導入

- ・ 公募によって、民間企業による自動販売機2基の設置あり。

1-7.公園の基本的な性格・役割

(1) 特長の分析

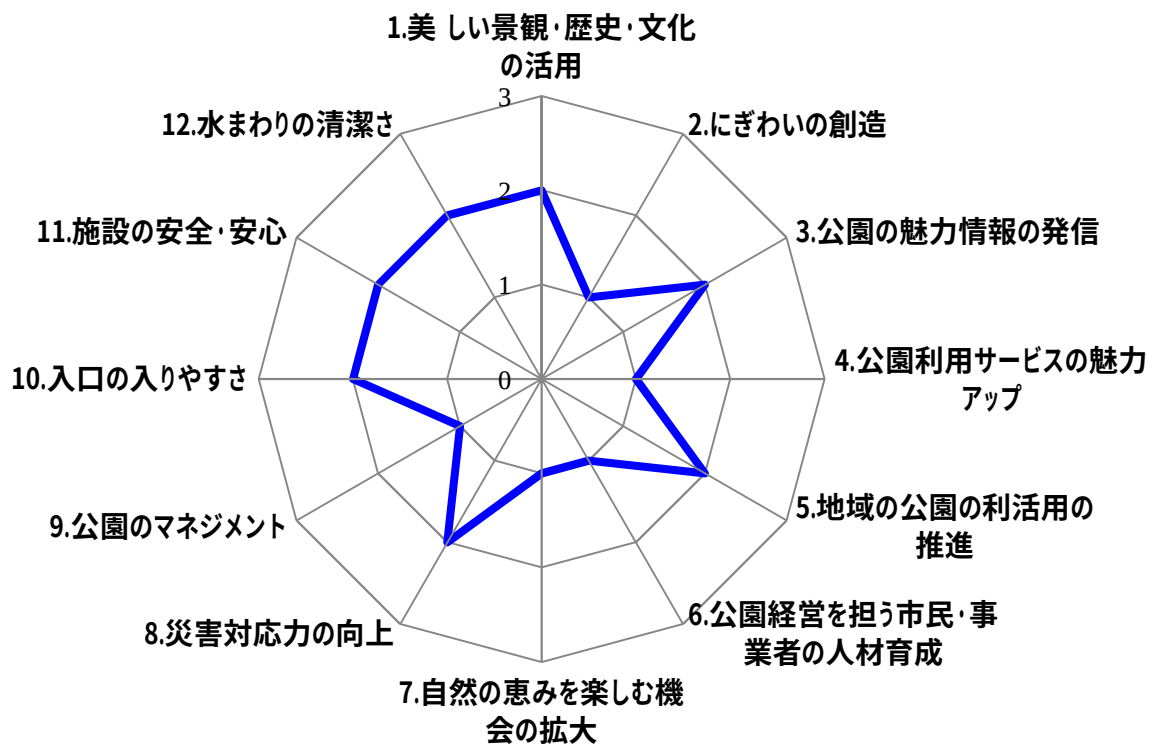
分析ポイント

歴史・文化	旧名古屋陸軍造兵廠であった。 特定住宅市街地総合整備促進事業制度により、周辺の街づくりと併せた公園整備が行われた。
景観	大規模住宅や大型商業施設、企業の建物に囲まれている。 公園内は緑が豊かであり、周辺の景色とマッチして落ち着いた雰囲気がある。 水景施設、彫刻等の修景施設が豊富である。
にぎわい	該当する外部・地元のイベントは無いが、公園自体は幅広い年齢層・利用者層が利用している。
地域の庭	区の花であるハナショウブを見られるエリアがある。 ベンチ等の休憩施設が多く、くつろぎの場所となっている。 地元及び隣接区からの利用者が多い。
自然の恵み	初春のウメや夏の緑陰樹、秋の紅葉やその落葉など、季節感のある樹木が多く植栽されている。
遊具	遊具のある広場が2箇所あり、よく利用されている。
スポーツ施設	スポーツ施設（テニスコート）があり、よく利用されている。 また、ランニングコースも、散歩（ウォーキング）などの利用者が多い。
災害対応力	広域避難場所に指定されているほか、応急給水施設などの施設もある。 また、グラウンドはヘリポート可能箇所としても指定されている。 このほか、災害時の緩衝地として焼け止まりなどの機能も見込まれている。
活動団体	愛護会、近隣企業による清掃活動が行われている。
民間活力導入状況	公募によって、民間企業による自動販売機の設置あり。

(2) 公園経営の視点から見た現況評価

公園経営の現況評価	
評価基準	
評価0	—
評価1	部分的に不足している
評価2	標準的なレベルに達している
評価3	積極的に取り組んでいる、高い評価を得ている

公園の現況評価



- ・ 緑に囲まれた修景池・水景施設など多数のビューポイントを有する。
- ・ 日常的に、早朝の体操・ジョギングなどで多くの利用者が利用する体力作りの場となっている。
- ・ スポーツ施設や遊具はよく利用されている。
- ・ 園内で自動販売機が設置されるなど、民間活力が導入されつつある。

2.めざすべき姿と取り組みの方針

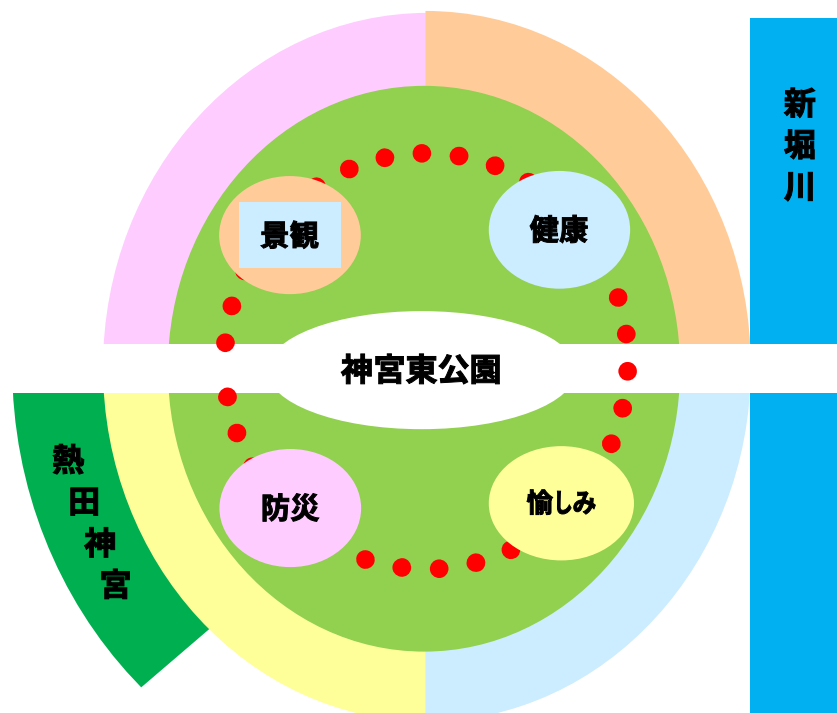
2-1.公園がめざすべき姿

(1) めざす公園像

緑あふれる景観の中で愉しむ、
心と体を育むオアシスパーク

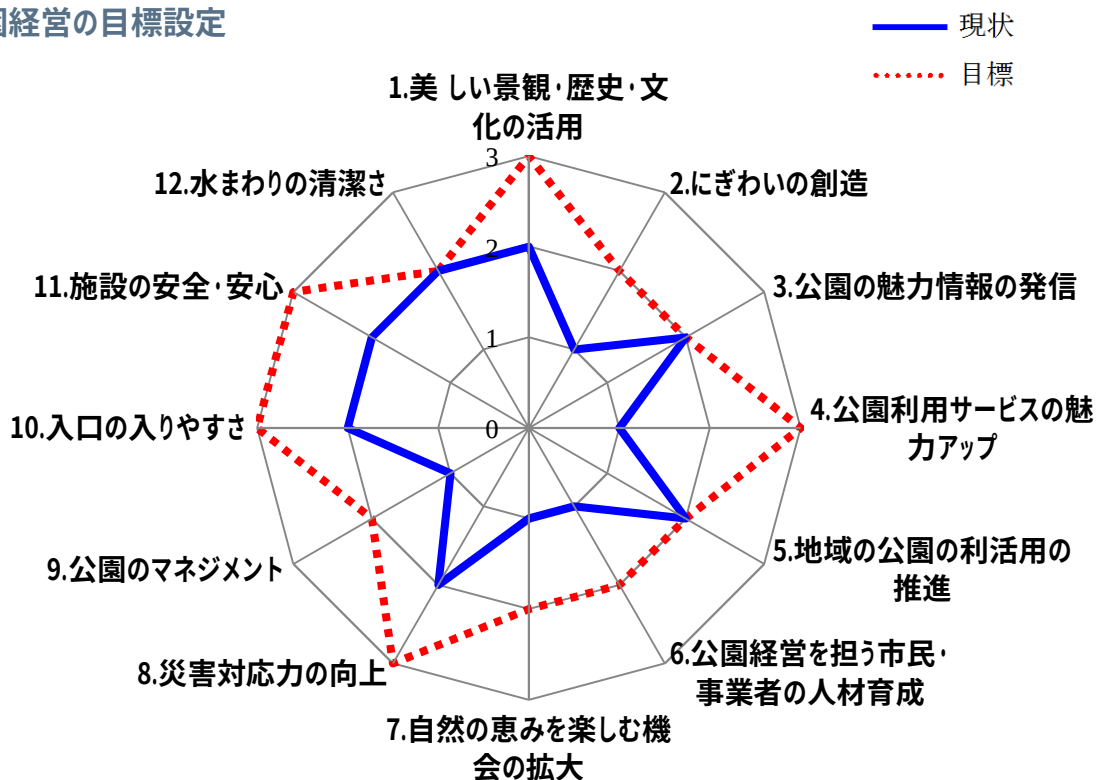
- ・ 緑あふれる景観の中で、市民が憩える公園
- ・ 地域の健康づくりの拠点として、利用できる公園
- ・ 様々な利用者層に対応でき、愉しみを演出する公園
- ・ 災害から周辺住民の命を守る、防災機能のある公園

(2) 神宮東公園のイメージ



2-2.取り組みの方針

(1) 公園経営の目標設定

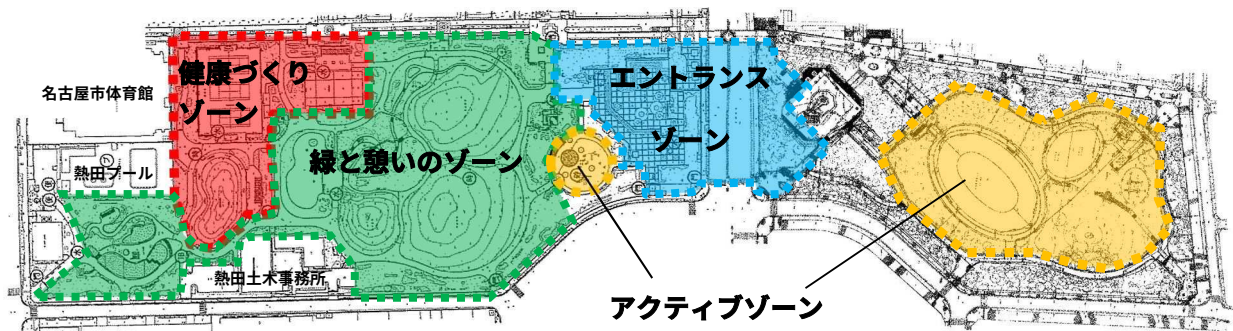


めざす公園像に取り組むための方針に沿って公園経営の目標を設定し、今後10年間に重点的に取り組む項目は、下表のとおりである。

めざす公園像のための取り組み項目	景観形成		運営管理				連携協働			維持管理		
	1	10	2	3	7	9	4	5	6	8	11	12
めざす公園像のための取り組み方												
緑あふれる景観の中で、市民が憩える公園	○											
地域の健康づくりの拠点として、利用できる公園											○	
様々な利用者層に対応でき、愉しみを演出する公園		○					○					
災害から周辺住民の命を守る、防災機能のある公園										○		

(2) ゾーン別特性

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、現況を踏まえ、機能・目的・自然的環境等により類型化したゾーン別特性は、以下のとおりである。



【健康づくりゾーン】

名古屋市体育館や熱田プールが隣接しているエリアで、テニスコートと健康増進広場（フィットネス広場）、北園のランニングコースの始点がある。

子供から高齢者まで、日頃から気軽に健康づくりができるエリアとする。

【緑と憩いのゾーン】

3つの芝生広場と流れ・修景池があり、周辺も大径木で覆われている。緑豊かな景観を楽しみながら、芝生広場や修景池横の四阿（あずまや）などでゆっくりくつろぐ静かなエリアである。

ベンチなどの休養施設を、寄附事業で更新しながら、憩いの場としての機能の向上を図るエリアとする。

【エントランスゾーン】

公園中央に位置し、幹線道路からの入口部分に当たるエリアである。水景施設や彫刻があり、落ち着いた景観を形成しているほか、幹線道路と各エリアとの間に位置し、交通量の多い車道の喧騒から、公園の特長でもある静かな雰囲気を保護する緩衝地としての機能も有している。

また、幹線道路（豆田町線）が緊急輸送道路になっていることから、この区域を災害時に緊急輸送道路から物資や避難者を受け入れるメインの入口として位置付けるとともに、平常時でも気軽に公園に入りやすい雰囲気作りに努めるエリアとする。

[アクティブゾーン]

南園の土の広場と遊具広場一帯のエリア及び北園の遊具広場で、土の広場はメイングラウンドとしての機能があるため、地域住民の利用が多く、遊具広場も近隣に住む子育て層や保育園・幼稚園の利用が多いエリアである。現況の機能を維持し、幅広い年齢・利用者層に対応できるエリアとする。

(3) 維持管理の方針

園地や植物の管理については、現況の植栽を生かし、各植物の特性に配慮したうえで、より質の高い維持水準を保てるよう必要な管理を行う。

施設や設備は、利用者が快適かつ安全に利用できるよう、各種施設の位置、機能、特性を十分に把握したうえで、常に清潔に保ち、機能を正常に保持するため、各施設に応じた管理計画を立て、点検・管理を行う。また、寄附事業（なごやかベンチ・まごころ遊具）を活用し、施設の更新・充実を図る。

地域住民との連携や、企業等とのパートナーシップを推進し、参加型で効率的な維持管理を目指す。

(4) 景観形成の方針

神宮東公園は、緑豊かな園地に、壁泉や、彫刻、芝生広場等などの施設が神宮東公園の景観を形成する重要な要素となっており、これらの美しい景観を維持するため既存の植物や施設の特長を生かした管理を行う。

また、エントランスゾーンを中心とした各入口を明るく清潔に保ち、来園者が安心して公園を利用できるよう管理を行う。

(5) 運営管理の方針

利用者の満足度を高め、多様なニーズに応えるため、利用者の声を参考にし、反映できるものは積極的に取り入れる。

神宮東公園の特長である、アクセスの良さや公園の規模、緑豊かな景観を活用した利用の促進を目指す。また、熱田神宮や高蔵公園、白鳥公園、宮の渡し公園などの周辺の施設、公園との位置関係を生かした利活用・広報を検討する。

自動販売機の設置などの民間活力の導入により、公園利用サービスの向上を検討するとともに、維持管理などの財源確保にも努める。

(6) 連携・協働の方針

周辺地域や近隣の企業・学校などの施設等との連携を進め、地域に根ざした公園を目指す。

現在、神宮東公園で活動している愛護会等のボランティア団体のほか、新たな団体、市民等との連携・協働の継続・充実を図り、公園をボランティアや市民のコミュニティの場（地域のオアシス・活動拠点）として活用する。

(7) 改修・再整備の方針

公園の安全・魅力向上のために必要な場合は、改修・再整備を行う。主に、老朽化した施設や舗装などの更新を進める。

(8) 災害対応の方針

「名古屋市地域防災計画」に基づき、広域避難場所としての機能を確保する。

また、災害時に広域避難場所としての機能を発揮できるよう、管理を行うとともに、防災訓練の会場等の活用を通して、広域避難場所の周知を図る。